

巻頭言

誰ひとり取り残さない デジタル社会の実現に向けて

(一社)九州経済連合会 監事 齋藤 武〔株NTTドコモ 執行役員 九州支社長〕 … 1

九経連活動報告

水素社会の実現を目指して連携協定を締結

～九経連と日本青年会議所九州地区協議会との連携協定締結式

および九州縦横断FCVキャラバン出発式開催～ …… 2

本州と九州を結ぶ「下関北九州道路」の早期実現を中央要望 …… 3

日誌(8月) …… 4

九州の食を世界へ！「九州の食輸出Web商談会」開催 …… 5

Mari Yoder の Impressions of Foreigners Working in Kyushu

Interview with Fukuoka Engineer Cafe Community Manager …… 6

会員紹介

株式会社B-GROOW …… 8

株式会社日本プレースメントセンター …… 9

有限会社折田物産 …… 10

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～ ブセナ海中公園 …… 11

九州観光推進機構ニュース

旅行者に人気のモデルコース

～④九州バス旅東まわり2泊3日コース～ …… 12

九州・山口地域動向

… 14

表紙説明・スケジュール(10月)・新入会員企業(8月)

… 17

誰ひとり取り残さない デジタル社会の実現に向けて



(一社)九州経済連合会 監事

齋藤 武

〔株NTTドコモ 執行役員 九州支社長〕

新型コロナウイルスが世界で暴威を振るいはじめ、約1年半が過ぎましたが、感染力の強い変異株の登場もあり、日本経済は先が見通しにくい状況です。一方で、この1年半でいろいろな「気づき」もあったように思います。最大の「気づき」は日本社会におけるデジタル化の重要性ではないでしょうか。2050年カーボンニュートラルに対応したグリーン成長戦略、そして、2025年問題、生産労働人口減少への対応、非接触、ペーパーレス・リモートワークといった働き方改革、いずれもビフォアコロナから掲げていた課題だと思えますが、課題解決のためにデジタル化を進めていくことの重要性がより一層高まったように思います。

Society5.0では、IoTですべての人とモノがつながり、さまざまな情報が横断的に共有され、健康・医療、農業・食料、環境・気候変動、エネルギー、安全・防災、人やジェンダーの平等などのさまざまな社会的課題の解決とともに、国や人種、年齢、性別を超えて必要な人に、必要なモノ・サービスが、必要なだけ届く快適な社会を目指しています。九州・沖縄でも多くの地域でスマートシティの取り組みが議論され、推進されつつありますが、高齢化、多発する自然災害、移住・交流の停滞といった課題を考えますと、都市部だけではなく、人口減少が進む地方、離島エリアにおいて、5GをはじめとするICTテクノロジーを医療、教育、農業、働き方改革、モビリティなど、幅広い分野で活用し、地域活性

化を進めていかななくてはならないと感じております。

大雨被害やコロナ第5波と苦しい夏でしたが、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録は久しぶりに嬉しいニュースでした。今後は、その素晴らしい自然、希少動植物を守っていくこと、そして、その価値を広く世界に発信し、さまざまな観光資源を有機的に回遊させていくこと、二律背反ともとれるこの二つを両立させ「持続可能な観光地づくり」が課題です。携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成した人流等の統計情報は、コロナ禍における3密回避対策のための行動変容を促すことにご活用いただいておりますが、このようなビッグデータを利用した特定地域の人流の可視化、観光客分析、AIによる近未来の動態予測は「持続可能な観光地づくり」にも大いに活用できるでしょう。

デジタル化の恩恵は「社会全体に浸透していること」が前提です。高齢者をはじめとするデジタルデバイド解消、マイナンバーカードの普及と各種データとの連携による高付加価値化、中小企業含め企業全体がデジタル化を進めることが喫緊の課題です。マイナンバーカードの申請はスマートフォンでできますので、休日も営業している全国各地の携帯ショップで、申請のサポートを開始しております。さらに、産官学が一体となって、誰ひとり取り残さない、人に、環境に、地球にやさしいデジタル化を進め、安心、安全に経済活動を行えるようにしていかなければならないと考えております。

「ひとりがうれしいのではなく、皆が幸せになる。ひとりひとりの力で、世を変えることができる。“おかしれえ”。俺が探し求めてきたのは、これだ！」NHKの大河ドラマ「青天を衝け」第24回、パリ滞在中の渋沢栄一が証券取引所で、「株式資本(キャピタルソシアル)」の仕組みを知るシーンでの言葉です。デジタル化で皆が幸せになる。ひとりひとりの力で、世を変えることができる。九州・沖縄の皆様と一緒に、“おかしれえ”取り組みを協創していきたいと思っております。

水素社会の実現を目指して連携協定を締結 ～九経連と日本青年会議所九州地区協議会との連携協定締結式 および九州縦横断FCVキャラバン出発式開催～

と き 7月30日(金)

ところ 福岡市・九州大学 伊都キャンパス 水素エネルギー国際研究センター

出席者 約40名

本会は、水素エネルギーの利活用を推進することを目的に、(公社)日本青年会議所九州地区協議会(会長 柴崎政俊氏)と連携協定を締結した。今後、九州縦横断FCVキャラバンの共同実施、展示会での水素関連ブースの共同出展、水素ステーションの整備促進に関する要望活動などに連携して取り組むこととしている。

1. 連携協定締結式

はじめに、日本青年会議所九州地区協議会の柴崎政俊会長、本会の倉富純男会長が代表挨拶に立ち、柴崎会長は「政府が掲げる2050年カーボンニュートラル実現にあたり、水素エネルギーの利活用を推進していくことが、これからの九州のエネルギー政策にとって極めて重要である」と述べ、倉富会長は「脱炭素を成長の機会・ビジネスチャンスと捉え、改革・イノベーションをいかに起こすかに知恵を絞りながら、挑戦の風を九州から吹かせていきたい」と述べた。

続いて、立会人をお願いした九州大学の石橋達朗総長より「世界全体をカーボンニュートラルにするためには、電力等のエネルギー供給のみならず、運輸、産業、民生を含むあらゆる部門での脱炭素化が必要。産学官地域連携を通じてグリーンイノベーションに貢献したい」とご挨拶をいただいた。その後、経済産業省九州経済産業局資源エネルギー環境部の沼舘建部長ならびに環境省九州地方環境事務所の岡本光之所長による来賓挨拶の中で、グリーン成長戦略や地域脱炭素ロードマップのご紹介をいただいた後、連携協定書に署名した。



2. 九州縦横断FCVキャラバン出発式

九州縦横断FCVキャラバンに関する趣旨説明があり「現在、水素ステーションが九州全県に整備されていないため、FCVでの九州一周は困難。今回、九州全県をつなぐ10ルートを設定し、実際にFCVで走破することで水素ステーションのミッシングリンク解消を啓発していきたい」と紹介された。

最後に、九州大学の佐々木一成副学長・水素エネルギー国際研究センター長が「本日ここに水素利活用の連携協定が締結された。夢のような話である。産学官一体となってカーボンニュートラルを推進していきたい」と総括した後、九州大学水素ステーションからFCV新型MIRAI 2台(提供:福岡トヨタ自動車株式会社)が元気に発進していった。



※動画配信のご案内

右記QRコードより、式典の様子を
ご覧いただけます。



【産業振興部 久保】

本州と九州を結ぶ「下関北九州道路」の早期実現を中央要望

と き 8月18日(水)

ところ 国土交通省、山口県庁、福岡県庁(Web)

出席者 7名

下関北九州道路建設促進協議会(会長：倉富純男・九経連会長)など9団体は、オンラインにて下関北九州道路の早期実現に係る中央要望を行った。要望団体を代表して、下関北九州道路整備促進期成同盟会の村岡嗣政会長(山口県知事)ならびに服部誠太郎副会長(福岡県知事)等が赤羽一嘉国土交通大臣に対し、同道路の事業化に必要な手続きを迅速かつ着実に進めていただくよう求めた。

■下関北九州道路の現状

国土交通省は、2021年3月に国直轄事業を新規採択する前段となる「計画段階評価」において、下関市と北九州市を橋梁で結ぶ約8キロのルート帯を選定し、今年度より「環境影響評価(アセスメント)」に係る手続きを進めている。

■主な要望項目

- 早期事業化に向け、国と2県2市の協力のもと、環境影響評価や都市計画決定の手続きを進めること
- PFI等の活用など官民連携による効果的な整備手法の検討を促進すること
- 平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するための重要物流道路として位置づけること

■要望先

国土交通省 国土交通大臣 赤羽 一嘉 氏

■要望者

下関北九州道路整備促進期成同盟会

会長 山口県知事 村岡 嗣政

副会長 福岡県知事 服部 誠太郎

下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟

顧問 柳居 俊学

会長 塩満 久雄

幹事長 先城 憲尚

北九州下関道路整備促進福岡県議会議員連盟

会長 中尾 正幸

事務局長 吉村 悠

■赤羽大臣の主なコメント

- 本州と北九州をつなぐ大動脈の必要性は十分に承知している。一日でも早く良い道路を造りたい。

- 今回の大雨による通行止め(8月)でも物流に甚大な影響が出ていると思う。防災減災の観点からも速やかに進めることが大事。



村岡山口県知事



赤羽国土交通大臣

【要望した9団体】

- 下関北九州道路建設促進協議会
- 下関北九州道路整備促進期成同盟会
- 下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟
- 北九州下関道路整備促進福岡県議会議員連盟
- 下関北九州道路整備促進北九州市議会議員連盟
- 下関北九州道路整備促進下関市議会議員連盟
- (一社) 中国経済連合会
- (一社) 九州経済連合会
- (一社) 中国経済連合会・(一社) 九州経済連合会関門連携委員会

【観光社会基盤部 後藤】

7月31日(土)～8月1日(日) [福岡市・西新プラザ]

地域政策デザインスクール開講式(日帰り合宿)

出席者:受講生31名、聴講生17名

2021年度「地域政策デザインスクール」が開講した。今年度は、古賀市、うきは市、宮若市、嘉麻市、別府市の5自治体と連携し、各自治体が抱える問題・課題について研究し、提言を行う。

初日は、当スクール実行委員会事務局長の永田晃也・九州大学教授による開講挨拶の後、同理事の石丸修平・九州大学客員教授が「地域政策デザインの基礎と実践」について、永田教授が「エビデンスに基づく地域政策デザインに向けて」と題し、それぞれ講義を行った。

2日目は、グループディスカッション等を行い、受講生間のコミュニケーション醸成を図った。来年2月の政策研究発表会を目標に、受講生が上記自治体の地方創生課題をテーマに取り組み、各首長に対して政策提言を行う。

2日(月) [東京都・ホテルニューオータニ]

第2回九州応援団

出席者:9名

九州出身および九州での勤務経験のある中央官庁の幹部職員で構成する「九州応援団」の第2回会合を開催した。

倉富純男会長が会長就任の思いを述べた後、事務局より直近の動きおよび農林水産業・交通基盤に関する本会要望について報告。外務省、内閣官房、金融庁より参加された4名との意見交換では、「ツール・ド・九州のPR・差別化」「旅行需要の分散化」「九州・長崎IRの付加価値(エンタメ等)」「アウトバウンド(特に若年層)促進」などの観点から意見をいただいた。

今後も定期的に会合を開催し、各省庁への相談窓口として適宜アドバイスをいただくこととしている。

3日(火) [福岡市・アクロス福岡]

第6回九州・大学発ベンチャー振興実践会議

出席者:66名

九州・沖縄地域の大学、産業界、地銀・VCが連携し、大学シーズの速やかな実用化、産学協力、オープンイノベーション推進等により大学発ベンチャーの育成・振興を目指す「九州・大学発ベンチャー振興会議」の事前会議である実践会議を開催した。

大学側(13大学)から今年度提出シーズ24件の説明、企業側(10社)からは企業ニーズ24件の説明があった。今年度提出シーズについて円滑にGAP資金を付与する作業、企業ニーズに対する大学側の関心表明を9月まで行うことを確認した。

4日(水) [大分市・ホテル日航大分オアシスタワー]

東九州軸推進機構第31回総会

出席者:88名

東九州軸推進機構(会長:倉富純男九経連会長)第31回総会では、2020年度事業報告および収支決算報告、2021年度事業計画案および収支予算案等が審議され、全て原案どおり承認された。なお、議決された「東九州地域の活性化推進に関する要望」をもって、8月26日に国土交通省等各機関に対して要望書を提出した。

また、総会後には、西日本高速道路(株)九州支社の矢嶋尚彦副支社長より「東九州自動車道 開通5年後のストック効果」、同支社の濱野昌志地域連携担当部長より「高速道路を活用した地域創生プロジェクト」と題し、それぞれご講演いただいた。

17日(火) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]

行財政委員会第1回自立型広域経済圏モデル検討WG

出席者:13名

まず、石丸修平座長が挨拶の中で、WG立ち上げの経緯およびONE KYUSHUで課題解決に取り組む意義など検討に向けた思いを述べた。

次に事務局より「九州将来ビジョン2030」の概要と、同ビジョンが掲げる「自立型広域連携アイランド」実現に向けたWGの検討内容を説明し、目指す方向性について意見交換を行った。近年、感染症対策や頻発する豪雨災害対応など、九州一体で取り組むべき課題が増加しており、住民の幸せや経済成長のために、地域の強みを活かし、テクノロジーを駆使して、広域連携・官民連携の基盤を検討していくことを確認した。

18日(水) [Web実施]

下関北九州道路中央要望

※本誌3ページ「活動報告」にて詳細を掲載

18日(水) [Web開催]

西村経済再生担当大臣との新型コロナウイルス感染症対策に関するテレビ会議

出席者:4名

西村康稔経済再生担当大臣と本会ならびに関西経済連合会、中部経済連合会の各会長とのテレビ会議が開催され、西村大臣より各経済連合会に対し、企業における感染拡大防止策の一層の徹底について協力依頼があった。

西村大臣からは、職場でのクラスターの発生など感染が拡大しているとして、テレワークや休暇取得等による「出勤者7割削減」のさらなる推進、職場での感染防止の徹底、職場における検査の拡充について要請があった。

本会倉富会長からは、コロナ禍で疲弊した事業者をはじめ、会議数日前に発生した豪雨災害の被災企業に対する国による迅速かつ手厚い支援を大臣に要請した。

24日(火) [Web開催]

第1回サイバーセキュリティセミナー
出席者：145名

今年度第1回目のセミナー「アフターコロナを見据えたニューノーマル時代のサイバーセキュリティ対策」をオンラインにて開催。三井物産セキュアディレクション(株)の関原優氏より「コロナ禍における最新のサイバーセキュリティ事案の解説と具体的な対策」をテーマに、続いて(株)ラックの仲上竜太氏より「クラウドサービスのサイバーセキュリティ対策」をテーマに、それぞれご講演いただいた。

最後に、経済産業省九州経済産業局による施策紹介「地域におけるサイバーセキュリティ・コミュニティの形成に向けて」を実施。サイバーセキュリティに対する意識向上の機会となった。

※次号(11月号)にて講演要旨を掲載予定

25日(水) [Web開催]

九州の食輸出Web商談会

※本ページ下に詳細を掲載

26日(木) [Web開催]

九州地域戦略会議幹事会
出席者：24名

第40回九州地域戦略会議(10月)の開催方法・議題について、構成委員(各県および各経済団体)の実務

担当者による幹事会(Web会議)を開催した。

会議において、①戦略会議では「九州創生の推進」について、観光産業の復興・DXの推進、地域の元気づくりの取り組みをメインに議論すること ②鹿児島開催の予定であるが、新型コロナウイルスの影響を見ながら9月下旬には開催方法(リアル/Web)を判断することなどが確認された。

27日(金) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]

ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会第2回企画部会
出席者：22名

今年度、ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会が女性活躍をメインに掘り下げるにあたり、具体的な取り組みとして、今回から企画部会と併催で「企業版ジェンダーギャップ指数検討WG(仮称)」を開催した。座長には、九州旅客鉄道(株)人事部担当部長の原榎義之氏に就任いただき、同指数の策定・定着化により女性活躍の取り組みを「見える化」して企業の気運醸成を目指す。初回となる今回のWGでは、(公財)九州経済調査協会から指数策定のスキームや、既存のジェンダーギャップ指標の説明を受けた後、議論の中で完成イメージを共有した。



九州の食を世界へ！「九州の食輸出Web商談会」開催

と き 8月25日(水)
参加企業数 17社
商談件数 23件

九州の食輸出協議会(事務局：九州経済連合会)

「九州の食輸出協議会」(以下、協議会)の主催で、金融機関を中心とする協議会賛助会員の取引先の生産者・メーカーと協議会会員商社をマッチングする、「九州の食輸出Web商談会」が開催された。本商談会は、当初は福岡市内の会場とWebの両方を用いて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、全面Webでの開催となった。会員商社5社との商談を希望する企業12社が集まり、商談件数は合計23件であった。

参加した生産者・メーカーからは、「無料でこのような商談の機会を設けてもらえてよかった」「今回のようなWeb商談を定期的に開催してほしい」といった声や、輸出実務を行う商社との面談や商談会と併せて実施した「協議会のプロジェクトマネージャー2名への輸出相談」の機会を通して、「自社商品の強み・弱みの把握や、課題発見等、直接的な商談成約以外の気づきを得ることもできた」といった声が寄せられ、好評のうちに終了した。

協議会では、今後も輸出拡大支援のため、各種商談会の実施を企画していく。

【農林水産部 内川】



Web商談および輸出相談の様子



Impressions of Foreigners Working in Kyushu

Interview with Fukuoka Engineer Cafe Community Manager

Mr. Laurie Griffiths, interviewed by Mari Yoder
Fukuoka, May 20th 2021.



Laurie Griffiths is a British software engineer with a degree from Cambridge University. He originally came to study at the Japan University of

Economics on a one year scholarship. However, he enjoyed Fukuoka so much that he decided to stay. He's become a fixture in the Fukuoka startup scene, helping to bridge the gap between the Japanese and foreign community. He also does consulting work for LINE, but his current focus is working for the Engineer Cafe to promote Fukuoka as a software engineering hub.

The 112 year old Fukuoka Akarenga Cultural Center building where the Engineer Cafe is located was designated by the national government as an important cultural property in 1969. The cafe started there in 2019, and is a joint effort involving public and private sectors. They provide consultations for computer engineers, people associated with them, and those hoping to become computer engineers.

Mari Yoder (MY): What were your first impressions when you arrived in Kyushu?

Laurie Griffiths (LG): A lot of things are very different on the surface level. Obviously it's a different language, and everything looks different. However, I've always felt like under the surface, the U.K. and Japan have a lot in common in our manners and the way we do things. For example British people and Japanese people can both be quite reserved. And they can tend to be a little bit indirect or a little bit cold at first, but it's just that they take a little bit of time to warm up. So I think Japan and the U.K. are very similar in this respect.

MY: What is the Engineer Cafe?



LG: The Engineer Cafe started about 2 years ago, and is sort of a hacker space designed to support engineering in Fukuoka. We are very lucky to be funded indirectly by Fukuoka City, so there are no membership fees, we're just a service for people. So we can be kind of neutral and impartial in that we're not trying to sell anything, which is nice. We aim to cater to all types of engineers from hardware to software and also at all levels as well, from complete beginners to very, very experienced engineers. And so far we've done a good job of that. We've had events for children, students, new programmers, and for people interested in becoming software engineers. We've also had professional software engineers organizing community groups to discuss the latest technology. I think the oldest person I've talked to was starting to learn programming when they were in their early seventies. I think it's wonderful that people come for lots of reasons as well. For some it's a hobby and some people come for more practical reasons. We had someone who was furloughed from their job at the beginning of the COVID situation. They were receiving 60 percent of their wages and they decided they were going to retrain and become a software engineer. And they studied very hard, full time, basically for about six to eight months until they finally got a job offer in the industry. So that's a real success story.

MY: If someone wants to study engineering, how should they go about it?

LG: At the moment we're online only, but when we're back to running normally, the first thing would be to come to the Engineer Cafe and discuss your goals. We will recommend books, online courses, and free materials. There's so

much material now online, so many different things you can do. So just pick one thing, go deep and learn it. And it's really important to do the practice, do the problems, try a bit of writing the code yourself, because that's how you really learn it. While you're studying as well, you can come to the internet cafe and use the space to study. And if you're stuck on something, you can speak to one of the community managers like me who will try to answer your technical questions, and help with anything like that.

MY: At the Engineer Cafe, how is success measured?

LG: We look at how many people have used it, how many consultations we've done in a particular day, a week or month. Since we're trying to reach as many people as possible, the number of people, how many non-Japanese speakers, as well as how many English speakers have come into the Engineer Cafe, is really important to us. Another thing that's really important is how much community activity have we stimulated? How many new events have we created? Just a couple of weeks ago, we had an A.I. event that had come out of the community and that was really interesting. I think building a strong community pays dividends, but sometimes that takes a few years. We're focused on individual skills, people learning and growing, and that just takes time. It's not going to happen in one week or one month.

MY: You mentioned non-Japanese speakers, what is the goal of the Engineer Cafe as it relates to foreign talent?

LG: Put very simply, it's more engineers, more talent. And I think that comes in two main ways. One is making Fukuoka an attractive place for people in other countries or other cities like Tokyo. We want people to feel this is the best place to start their company or work as an engineer. And the other way is through training, study, and skills, helping people starting from scratch to having some engineering skills. That doesn't always mean that someone is going to become a full time software engineer. But if someone is already

working in another field, if they have some technical expertise, they can come to the Engineer Cafe, learn some of the skills and apply them at their existing job. Digitization, the online working digital office, and paperless are all things the government, both local and national want to really promote, and we're doing our best to make them a reality.

MY: Do you have any advice for young people who want to work in tech in Kyushu?

LG: Well, you need to be able to speak Japanese. I wouldn't worry so much about tests, especially in tech, but you need to be conversational and comfortable. Don't worry about getting JLPT N1, 2, or 3, most employers don't know about them. But you need to be able to talk to them in the interview and make them feel confident that you are going to be able to communicate about work to some level.

(要旨)

イギリス・ケンブリッジ大学出身のソフトウェア・エンジニア、ローリー・グリフィスさんは、官民一体のプロジェクトで2019年に福岡市に開設されたコンピューターエンジニアの育成・成長・交流拠点「エンジニアカフェ」に勤務。コミュニティマネージャーとして日本人や外国人からの各種相談やコミュニティ支援に応じるなど、福岡をソフトウェアエンジニアリングのハブとすべく活動している。

元々1年間の奨学金を得て福岡の大学に留学していた彼は、福岡が気に入りそのまま定住。今では日本と海外のコミュニティ間のギャップをつなぐ架け橋として活躍するなど、福岡のスタートアップシーンに欠かせない存在となった。

カフェでは初心者から熟練者、また子供から年配者まで幅広い利用者層の各種ニーズに対応している。趣味としてプログラミングを始める人もいれば、コロナで影響を受けた人がこのカフェで勉強し、ソフトウェア・エンジニアのスキルを身に付けて転職に成功した例もある。

カフェの目標として「東京や海外のエンジニアが起業や仕事をする上で福岡が最適な街だと感じて、より多くのエンジニアや才能が福岡に集まること」と語るローリーさん。「エンジニア経験者もカフェに来て新たなスキルを学び、従来の仕事にも応用してほしい」と期待を述べた。

会社紹介

株式会社B-GROOW (ビーグロー) は、2013年12月に設立した会社です。内部社員5名、外部協力メンバー20名の小規模企業ですが、中小・中堅企業の社外人事部門として「ビジネスの成長」を人事・労務分野でご支援させていただいております。

人事・労務分野といっても、弊社はコンサルティング会社なので、社会保険労務士の先生が行う手続や助成金申請は一切いたしません。主な業務は、組織風土改革を目的とした社員満足度調査、人事制度設計・導入、社員の成長を目的とした教育研修をトータルでご提供しております。

主力商品は、「社外人事部」という顧問契約型コンサルティング業務です。社員の入社から退社までに起こるさまざまな人事・労務イベントに対応しています。2022年4月からは、中小企業にもパワーハラスメント(以下、パワハラ)相談窓口設置が義務付けられています。さまざまなハラスメントがございますが、パワハラに関しては社内相談窓口に情報が上がってくることは少ないものです。パワハラが発覚するのは、社員さんが訴えを起こしたときという悲しい事態を避けるため、弊社で窓口対応ができるように準備を進めております。

人事部門の仕事は、社員の入社から退社まで多岐にわたっています。社会のグローバル化や度重なる法改正にも対応できるように、中小企業診断士・社会保険労務士・キャリアコンサルタント等有資格者が業務にあたっています。私たちは「本物であること」を意識し、日々精進しております。B-GROOW (ビーグロー) はこれからもビジネスの成長に必要な「ひと」づくり・「組織」づくりのお役に立てるようにメンバーが一丸となって活動してまいります。

会社名	株式会社B-GROOW (ビーグロー)
創業	2013年12月27日
代表者	代表取締役 空 直美
事業内容	中小・中堅企業向け人事コンサルティング業務、社員満足度調査・人事制度設計導入および運用ご支援・階層別社員研修等
従業員数	5名(他 外部メンバー20名)
本社所在地	〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-5-28 博多偕成ビル9階
電話番号	092-476-7300
ホームページ	https://www.b-groow.com

会社概要

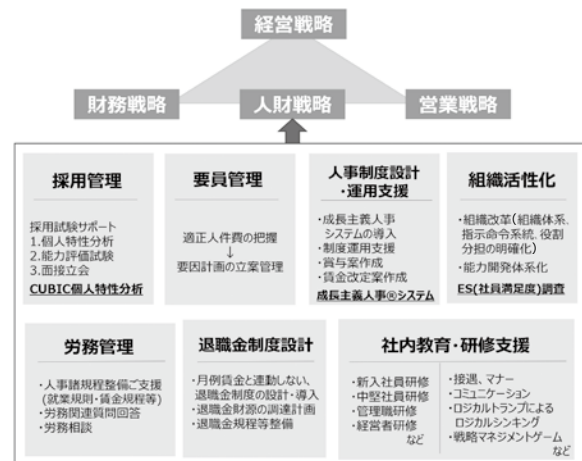
会社設立前は、会計事務所系コンサルティング会社で事業部長をしておりました。コンサルティング業界というのは、スポットで高額な報酬をいただくのが常識になっております。サラリーマン時代から、そこに疑問を持っていました。スポットで対応しても喉元過ぎれば元に戻ってしまうことが多いものです。コンサルティング業務こそ顧問契約で未永いお付き合いをしていく必要があると考え、弊社では同業者が目を見やめる価格設定の顧問契約がメインとなっています。私たちは、お付き合いくださる企業様のお役に立てるようにB-GROOW品質で業務遂行しております。



代表取締役 空 直美

入社から退社までの人事関連業務をご支援いたします。

「成長する」がキーワード



会社紹介

当社はビジネスホテル(ドーミーイン 全国81カ所)やリゾートホテル(ラビスタ霧島、ビーチタワー沖縄など35カ所)を運営する株式会社共立メンテナンスのグループ会社です。共立メンテナンスは創業以来約40年間、全国の大学・専門学校や企業様への学生寮、社員寮、ワンルームマンションの提供(全国492棟)を根幹事業としています。

バブルがはじけ、失われた20年のはじまりとなった1990年代。就職氷河期が到来し、働きたくても職が見つからない若者に働ける場を——という思いから、共立メンテナンスの関連会社として当社 株式会社日本プレースメントセンターを創業しました。世の中の需要を受けてIT業界に舵を切り、この20年間主にシステム運用業務のアウトソーシングを担ってきました。現在の事業拠点は関東・関西で、社員の半数が大手金融機関(メガバンク)のシステムセンターでの運用業務を行っています。その他、官公庁、流通、製造系企業のシステム運用・保守にも携わっており、運用だけでなく開発やインフラ(ネットワークやサーバ、クラウド等)エンジニアとして活躍する社員も増えてまいりました。

当社は九州出身の社員が多く(全社員889名中205名が九州出身)、さまざまな事情から地元(九州)に戻って働きたい社員を多く抱えています。地元の九州で活躍できる場を作るべく、5年ほど前から九州地区の事業拡大を進めております。

首都圏でITスキルを身に付けた九州出身の人材が、九州で活躍できる場を引き続き創出していくことで、九州の経済の活性化に貢献できればと考えております。九州出身の当社IT社員を活用いただける業務(派遣・業務委託・請負)がございましたらぜひご連絡ください。

会社概要

会社名	株式会社日本プレースメントセンター
創業	1999年12月3日
代表者	代表取締役社長 小山 哲郎
事業内容	IT領域におけるアウトソーシング事業および人材派遣事業 ・システム運用(運用管理、システムオペレーション) ・ネットワーク(設計、構築、運用) ・システム開発・保守 ・ヘルプデスク CRO業務(医薬品開発における安全性情報管理に関する業務)における人材派遣事業 許可番号: <派遣>派13-010721
従業員数	889名(2021年4月)
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館6階
電話番号	03-3546-3633
関連会社等	株式会社共立メンテナンス
ホームページ	https://www.jpc-net.co.jp

私は「すべての価値の源泉は人材にある」と思っています。当社の経営理念は平たく言うと、「人材育成を通じて社会に貢献しよう」ということです。社員の半数以上が大手金融機関や官公庁・自治体のシステムの運用に携わっています。また、約1割の社員が医薬品の安全性情報管理の仕事をしています。ミッションクリティカルな仕事現場であるからこそ、当社はコンプライアンス教育と業務改善促進には、とりわけ力を入れています。まだ、コロナ禍は続きますが、当社は今後も社会の安全安心を支えるために精進する所存です。



代表取締役社長 小山 哲郎



平均年齢28歳の若手エンジニアが活躍

有限会社折田物産

<2020年1月14日入会>

会社紹介

わが社は、緑茶、抹茶、発酵茶、青汁等の農業系製造生産企業です。グループ内で有機栽培茶園、その他農場約40haを有し、製造、仕上げ焙煎、冷蔵保管、包装パッキング、卸直販等茶関係一貫生産を行っており、茶生葉等の外部仕入等を行わないことで有機茶原料の品質維持を行い、製茶品質安定を図っています。また、抹茶工場を約5億円かけて整備し、碾茶原料から抹茶粉末化パッキングすることで、特に海外の旺盛な有機抹茶需要に応じられる体制になりました。

緑茶は年間約100トンの生産量で、生産された有機緑茶は国内の百貨店、スーパー、食品メーカー、直通信販売等全国の消費者に安全安心な有機知覧茶として飲んでいただいています。またペットボトル用茶生産も行っており、各販売メーカーのOEM生産にも供給しています。

農場栽培管理では、農薬、添加剤、除草剤等は全く使わず、有機肥料を主体に化学肥料も極力使用しないことで農地土壌の劣化を防ぎ、地下水汚染等環境破壊に留意することで消費者の健康にも貢献しています。

今、緑茶市場は国内茶消費減退で生産過剰状態になっています。消費の現場ではコーヒー等多様性に富んだ飲料であふれており、特に急須等で入れて飲む茶の苦戦が続いています。わが社では、他では難しい有機茶生産することで、農薬等に頼った慣行栽培茶との差別化を図り、また自社販売員が直接消費者に接して販売することで、消費者等の意見を生産現場にフィードバックし消費者に支持される茶品質の向上を行っています。海外では日本茶を飲んで健康を維持することが認識奨励され、特に若い人たちの間で煎茶や抹茶の需要ブームが起きており、商談のほか、生産現場の見学や体験の依頼も多くなっています。緑茶輸出は残留農薬基準をクリアするだけではだめで、その地域の嗜好に合うことが大切です。また海外各国からは有機栽培の指導依頼もあり、ベトナム農村開発省試験研究機関への有機茶栽培方法の指導協力も行っています。

国内では斜陽の茶業ですが、日本茶は世界中から支持されており、積極的に海外展開も拡大していきたいと考えています。

会社名	有限会社折田物産
創業	1970年4月
代表者	代表取締役 折田 信男
事業内容	緑茶製造、抹茶製造、青汁製造
従業員数	30名
本社所在地	〒891-0911 鹿児島県南九州市 知覧町塩屋15712番地
電話番号	0993-85-3107
関連会社等	有限会社おりた園、有限会社エコ ファーム、折田農園
ホームページ	http://www.orita.co.jp

会社概要

農業歴50年以上になります。昭和30、40年代は国産紅茶生産が主でしたが、昭和46年度の紅茶の輸入自由化で生産は成り立たなくなり、緑茶の生産に切り替えました。当時から10ha規模で茶園を所有しており、毒性の強い



代表取締役 折田 信男

農薬散布は必須で年間の農作業のほとんどは農薬散布の状態で、結果的に農薬中毒で廃人同様になってしまいました。廃業も考えましたが、多額の借入金等も有り、続けざるを得ませんでした。その後、有機野菜を生産しながら20年位が経ち、品質の良い緑茶や野菜ができるようになり、現在では有機の緑茶、野菜として国内外に直販できています。



茶摘み風景

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)



ミス沖縄
クリーングリーンレイシャス
新里瑞紀

皆さま、はいたい！ミス沖縄クリーングリーンレイシャスの新里瑞紀です。
秋気心地よい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。10月の沖縄は残暑が続き、まだまだ海のレジャーを楽しめる季節が続いております。

さて、今月は、沖縄本島名護市にある、海を楽しめる施設「ブセナ海中公園」の「グラス底ボート」と「海中展望塔」をご紹介します。

日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けしております。ぜひチャンネル登録&いいねをお願いします！

■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら <https://bit.ly/2Fa1tIW>



新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に取り組んでいます！

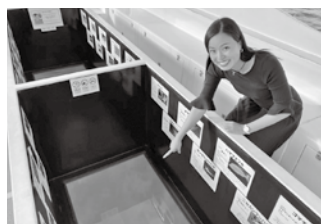
～ブセナ海中公園～ (沖縄県名護市字喜瀬1744-1)

グラス底ボートは、ボートの底がガラス張りになっており、海中散策をしながら海の中にある珊瑚やカクレマンノミなどの生き物の姿を見ることができます。また、餌やりもできるので、間近でお魚たちを観察することもできますよ。

海中展望塔は、服を着たまま、沖縄の美しい海の世界を楽しむことができます。お天気が悪くて、沖縄の海を諦めたことがある方いらっしゃいませんか？

海中展望塔なら雨の日でも、気楽に海の中をのぞくことができます！また、沖縄に来られなくても沖縄の海を感じていただけるよう、ライブカメラ「リアル水族館」が設置されました。海と日本プロジェクトの活動の一環で、琉球放送と協力し、YouTubeで生配信を行っています。

普段見ることのできない、海の中での生き物たちの生活の様子を見ることができるので、リアル水族館を通して沖縄の海に癒やされただけなら嬉しいです。ミス沖縄のYouTubeでも「ブセナ海中公園」の魅力をご紹介しますので、ぜひご覧ください。



【今月のおススメ】空手

10月25日は「空手の日」です。空手は琉球古来の武術であった「手：ティー」に、中国から伝わった拳法を取り入れて生み出されたといわれています。沖縄伝統の空手が今後ますます発展し、世界平和と人々の幸福に貢献することに願いを込めて、「10月25日」を「空手の日」と定めたそうです。

「空手に先手なし」「人に打たれず、人打たず、事なきをもととするなり」

これらの言葉には、礼節を尊ぶ平和の武としての精神性が表されており、沖縄の平和を愛し、相手を敬う心が込められています。

空手は今年行われた東京2020オリンピックの正式種目にも採用され、沖縄県出身の喜友名諒選手が金メダルを獲得し注目されています。沖縄が誇る空手を皆さまも体験してみたいはいかがでしょうか。



ミス沖縄紹介Webページ <https://www.ocvb.or.jp/activities/missOkinawa> も併せてご覧ください。



皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。

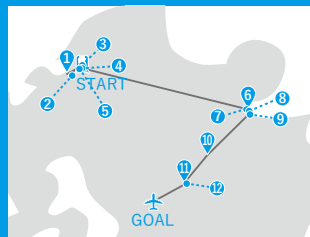


九州観光推進機構 ニュース

九州観光ポータルサイト「九州旅ネット」で
旅行者に人気のモデルコースをご紹介します！

④ 九州バス旅東まわり2泊3日コース

このコースのエリア 福岡県 熊本県 大分県	日数 2泊3日
おすすめシーズン 春 夏 秋 冬	グルメ／歴史



長距離バス・路線バスだけじゃないんです。大分と熊本を代表する観光地をいっぺんに楽しめる九州横断バス「あそ・くじゅう号」にも乗れてしまうSUNQバス。車ナシ、土地勘ナシ、下調べする時間ナシ…の個人旅行者には、とりわけ“使える”バスなのです！福岡空港から、ぐる〜り東まわり。移動と観光を兼ねたバスを上手に使って、充実感たっぷりの北部九州の旅を、お得&ラクに楽しみましょう。

START 1日目 福岡空港

1日目は九州の玄関口「福岡空港」に降り立って、九州東まわりのバス旅の始まりです！SUNQバスはオンラインで購入できるので、旅の前に手に入れておくのがおすすめです。北部九州なら3日間乗り放題で9,000円とお買い得！

① 福岡タワー

福岡空港から路線バスに乗って福岡タワー南口で下車。
高さ234m、海浜タワーとしては日本一。市制100周年を記念して、ハーフミラーを8,000枚も使い建てられたこのタワーは、アジア太平洋博覧会よかとびあ89のシンボル塔でもあります。地上123mの展望室より福岡市内や博多湾を一望でき、夜景も素晴らしく、バレンタイン、七夕、クリスマスのイルミネーションも楽しめます。また、季節によってさまざまなイベントがあります。



バリアフリー：車いす専用トイレ・車いすの貸出・エレベーター・ベビーベッド・スロープ・盲導犬同伴可能・障害者割引・高齢者割引

▼ 路線バスで50分 ▼

② 福岡城跡

黒田長政(初代福岡藩主)が築城した、400年の歴史を持つ福岡城跡(国指定史跡)をそぞろ歩いてみましょう。堀に囲まれたエリアにはいくつかの櫓や門が残っています。「鴻臚館」は、1300年以上前に大陸からの使節を招いた施設。いわば迎賓館のような役割を担っていました。



関ヶ原の合戦の戦功により、筑前52万石の領主となった黒田長政が7年の歳月をかけて築城。初めから天守閣はなかったといわれていますが、大、中、小の各天守台と47の櫓がある名城でした。現在、大手門や多聞櫓などが残っています。

種別：国指定史跡文化財 築：1601年

▼ 路線バスで11分 ▼

③ 石蔵酒造・博多百年蔵

ここは福岡の都市部に残る唯一の造り酒屋。酒造り見学、試飲ができます。百年蔵といえば、福岡県産米の山田錦をぜいたくに使った吟醸酒「如水」が有名ですが、スパークリング清酒「あわゆら」も人気です。



▼ 路線バスで15分 ▼

④ 柳橋連合市場

幅1mほどの小路と数本の路地に約70軒のお店がひしめき合う『博多の台所』。全体の3分の1が鮮魚・塩干物の店で、辛子明太子、玄界灘の活きのいい魚、冬は天然のとらふぐ、あんこう、あらなどが並び、福岡名物・屋台の食材は、多くがここから提供されています。毎月第3木曜日には市場を挙げての大売出しが開催されています。



▼ 路線バスで4分 ▼

⑤ 屋台おかもと

博多の旅のシメは、やっぱり屋台とはいえ「たくさんありすぎてどこに行けばいいかわからない」という声をよく耳にします。そんな方のために今回は渡辺通りのBiVi福岡前にお店を構える屋台「おかもと」をご紹介します。ここのラーメンは、こってり濃厚な味なのにとんこつ独特の臭みが気にならないスープが秀逸です。



START 2日目 西鉄天神高速バスターミナル

2日目は大都市・福岡を後にして、西鉄天神高速バスターミナルから高速バス「とよのくに号」に乗車、バスに揺られること2時間12分。「鉄輪口」で下車。

▼ 高速バス「とよのくに号」で132分 ▼

6 別府地獄めぐり

日本一の湧出量を誇る別府温泉へ到着です。地獄めぐりは「鉄輪口」から徒歩圏内、海地獄、鬼石坊主地獄、山地獄、かまど地獄、鬼山地獄、白池地獄は比較的近い範囲に集中しています。また血の池地獄、龍巻地獄へは鉄輪からバスで6分の血の池地獄前下車。

▼ 路線バスで9分 ▼

7 大分香りの博物館

2007年11月、別府大学のキャンパス隣にオープンした日本最大規模の香りのミュージアム。香りの歴史、文化などがわかりやすく展示されていて、五感をフルに活用して、「香り」が体験できます。また、ここで製造されているオリジナル香水「カボスオードトワレ」は、テレビなどでも紹介され話題になりました。

▼ 路線バスで17分 ▼

8 竹瓦温泉

別府に泊まるなら市営の共同浴場にも足を延ばしてみましょう。別府の共同浴場は、リーズナブルなだけでなく風情があるのです。特にここ竹瓦温泉は、正面の唐破風の屋根を持つ壮麗で大規模な木造2階建てのレトロな外観が特徴です。



◇別府温泉(別府温泉郷)

JR別府駅周辺から別府湾沿岸の北浜にあり、別府温泉郷の中でも温泉観光都市の拠点になっています。近代的な温泉付き宿泊施設が揃う一方、「竹瓦温泉」や「駅前高等温泉」といった昔ながらの公衆浴場があり、湯の町の情趣を感じることができます。近年、衰退した別府温泉観光を盛り上げようと、ボランティアガイドによる八湯ウォークなどのイベントも盛んです。

温泉の泉質：単純温泉、塩化物泉、炭酸水素塩泉など 温泉の効能：神経痛、リウマチ
日帰り入浴：可 温泉の飲用：可 飲用の効能：慢性消化器病・糖尿病・痛風

▼ 徒歩で5分 ▼

9 海鮮いづつ

夕食は、『行列のできる海鮮丼』が有名な「海鮮いづつ」で。鮮魚店が経営するお店というだけあって、ネタの大きさ、鮮度、種類の豊富さ…すべてが期待を裏切りません。写真ではわかりませんが、なんとご飯が酢飯なのです。新鮮な刺身をベストな状態で食べてほしいというご主人のこだわりが伝わる一品です。また、関アジ・関サバも、驚くほど良心的な値段で味わえます。



START 3日目 別府駅前

3日目は温泉を存分に楽しんだ大分に別れを告げ、別府から九州横断バスに乗って約2時間。阿蘇の大自然、「瀬の本高原」で下車。

▼ 九州横断バスで120分 ▼

10 瀬の本高原



大分県の九重連峰の南麓に壮大に広がる、標高600~800mのなだらかな高原で、見渡す限りの大草原が広がっています。阿蘇五岳、九重連峰も一望のもとに眺めることができ、「熊本緑の百景」第1位に選ばれました。四季折々に山菜狩りやハイキングが楽しめる、秋にはどこまでも広がるススキの穂波が見事です。その雄大な景色の中を走るやまなみハイウェイは、ドライブに最適です。

▼ 九州横断バスで82分 ▼

11 草千里ヶ浜



草千里は、阿蘇五岳のひとつ「烏帽子岳」の中腹に広がる直径約1kmの草原。牛や馬が放牧されていて、4~11月は乗馬体験もできます。レストランや土産店、オルゴール響和国、阿蘇火山博物館などの施設も充実しています。

噴煙を上げる中岳を望み、大きな池や放牧された馬が悠々と歩く姿など、絶好のロケーションを誇る草千里。阿蘇を代表する観光地のひとつです。夏は緑が鮮やかに輝き、冬は幻想的な白銀の世界に包まれる…。季節ごとに違った表情が楽しめるのも魅力で、一年を通じて、多くの人たちに親しまれています。

▼ 九州横断バスで5分 ▼

12 阿蘇山中岳火口

阿蘇山西駅に到着です。ここからは阿蘇山ループシャトル(別料金)に乗って、火口見学へ。エメラルドグリーンに染まる火口湖は、神秘的で美しく、地球のエネルギーを体感することができます。

▼ 路線バスで30分 ▼

阿蘇駅前

▼ 九州横断バス・特急バスで50分 ▼

GOAL 阿蘇くまもと空港

九州観光推進機構のホームページ <https://www.welcomekyushu.jp> 「九州旅ネット」も併せてご覧ください。

【本件問い合わせ先】(一社)九州観光推進機構 (TEL: 092-751-2951)

地域 動向

九州・山口

山口 Yamaguchi



手ぶらで気軽に楽しめる！新しいアウトドアスポーツ ツーリズム「スポーツフィールドやまぐち」

山口県では、自然豊かな本県のポテンシャルを生かし、キャンプを楽しみながら、近隣のアウトドアアクティビティと一緒に楽しむ「スポーツフィールドやまぐち」を推進している。

こうした取り組みを広く知ってもらうため、10月23日(土)、24日(日)には、山口市の山口きらら博記念公園でキャンプやアウトドアの初心者やファミリー層などを中心に、さまざまなアクティビティを一度に体験できる「スポーツフィールドやまぐちフェスティバル」を開催することとしている。

このイベントでは、キャンプをはじめ、クライミング、キッズバイク、カヤック、パラグライダーなど、「陸・海・空」の全てのフィールドで楽しめるアウトドアアクティビティが気軽に体験できる。

また、県内のアウトドア情報を発信する「スポーツフィールドやまぐちポータルサイト」も新たに開設し、イベント情報はもちろんのこと、アウトドアアクティビティが楽しめる場所や施設の紹介なども行っている。

新型コロナウイルス感染症への警戒が引き続き求められる中、自然が豊かな山口県で、自分の好みのアウトドアアクティビティを探して、楽しんでみてはいかがだろうか。



《問い合わせ先》

山口県スポーツ推進課 TEL：083-933-2435
スポーツフィールドやまぐちポータルサイト
<https://sportsfield-yamaguchi.com/>



※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント内容等が変更になる場合があります。最新情報については、スポーツフィールドやまぐちポータルサイトにてご確認ください。

福岡 Fukuoka



『家庭画報』クリエイターとのコラボレーション による伝統的工芸品の新商品を販売

福岡県では、2019年度から、県内伝統的工芸品の販路拡大を図るため、伝統的工芸品の生産者と、デザイン性や品質の高さで人気があり、県内外に幅広い販

路を有する企業等がコラボレーションした新商品の開発を支援している。

今回、婦人向け雑誌『家庭画報』のクリエイターと博多織や小石原焼、高取焼の職人がコラボレーションし、マルチポットセット等の全11点の新商品が完成。

本商品は、各産地や通販サイトで販売中。魅力的な商品の数々をご覧ください。



《問い合わせ先》

福岡県観光政策課 TEL：092-643-3454

福岡県 伝統的工芸品コラボ 検索



佐賀 Saga



高校生が大隈重信侯を熱演！ 演劇「太陽の羅針盤」配信中！

佐賀県が輩出した偉人、大隈重信侯。県では、大隈侯の百回忌を迎えた今年、改めて大隈侯の偉業や志に光を当て、未来につなげる「大隈重信100年アカデミア」プロジェクトを展開している。

そのひとつとして、佐賀県立佐賀東高等学校演劇部による演劇「太陽の羅針盤～未来のきみへ 100年目のメッセージ～」が7月31日・8月1日の2日間県内で上演され、多くの観客の心を震わせ、感動の渦に巻き込んだ。

総理大臣を2度務め、早稲田大学を創設した教育者でもある大隈侯。他にも日本初の鉄道開業と陸蒸気が海を渡った高輪築堤建設の英断、「円」を単位とした貨幣制度の創設、太陽暦の導入、統計院の設立など、強いリーダーシップで取り組んだ近代国家づくりはどのような志で成し遂げたのか。一方、盟友であった江藤新平の死、佐賀県が地図から消えた「空白の7年間」を、大隈侯はどう感じていたのか。「いま」を生きる高校生が全身全霊で「人間・大隈重信」の心に迫り、大隈侯を通して、100年目のメッセージを届ける。

演劇「太陽の羅針盤～未来のきみへ 100年目のメッセージ～」は、現在ウェブで配信中。「大隈重信はおじいちゃんだった。」という言葉の真意を、ぜひ皆様ご自身で確かめてほしい。きっと私たちが進むべき未来への羅針盤が見えてくるはずだ。

《問い合わせ先》

佐賀県政策部企画チーム
TEL：0952-25-7360



長崎 Nagasaki



長崎ヴェルカB3リーグへ参入

長崎ヴェルカは、「バスケットを通して、長崎、そして世界に『今を生きる楽しさ』を広げていく」という理念のもと、2020年9月に本県初のプロバスケットボールクラブとして誕生した。クラブ名は一般公募により決定し、「Welcome」、「Well community」、「Victory」の3つの意味がかけられており、長崎で親しまれるクラブとなり、長崎らしい良い文化を取り込みながら、地域創生を目指してほしいという思いが込められている。

また、チーム名やロゴデザインを一般公募するなど、県民の意見を取り入れながら、県民に愛されるクラブとなることを目指している。ファンクラブの加入者も既に3,000人を超えるなど、その認知度も徐々に高まりつつある。

現在、ジャパネットホールディングスが、長崎市内にサッカースタジアムや長崎ヴェルカの本拠地となるアリーナ、商業施設などからなる「長崎スタジアムシティ」の整備を進めており、長崎ヴェルカはアリーナ完成予定の2024年までにB1リーグに昇格することを目指している。

初年度となる今シーズンの目標は、B3リーグ優勝。今後、長崎を代表する新たなクラブとして、リーグでの飛躍と地域の賑わい創出が期待される。

《問い合わせ先》

長崎県スポーツ振興課
TEL : 095-895-2781



熊本 Kumamoto



熊本の農林水産物と加工品のポータルサイト「くまもとのアグリ&フード」の開設！

熊本県の農林水産物や加工品について、知りたいに もっと答える！ポータルサイト『くまもとのアグリ&フード』を開設した。『くまもとのアグリ&フード』は従来の4つのサイト「食材事典」「地産地消サイト」「企業の農業参入」「アグリビジネスセンター」をより見やすくリニューアルし、統合したサイトである。

「食材事典」…実需者（飲食店・小売店バイヤー等）と生産者のマッチングのきっかけづくりを目指すサイト。

「地産地消サイト」…くまもとの物産館や直売所、地産地消協力店等、食に関する情報を総合的に掲載しているサイト。

「企業の農業参入」…くまもとで農業を始める企業

を応援。農業参入方法や、参入事例、支援策などを掲載している。

「アグリビジネスセンター」…加工品の開発から販売までを支援。支援内容や、取組事例などを中心に掲載している。

今後、それぞれの視点から熊本県の農林水産物にまつわる情報を発信し、熊本県の農林水産物が県内をはじめ全国的に根強い人気を誇るものとなるよう魅力を広めていく。



くまもとのアグリ&フード開設！

<https://kumamoto-agribiz.jp/>

《問い合わせ先》

熊本県流通アグリビジネス課

TEL : 096-333-2424

検索

大分 Oita



ウニ業界へ革命を！～世界初！海を守る“ウニの陸上畜養の商用化”でかなえる循環型ビジネス～

これまで商品価値がないために漁獲対象となっていなかった磯焼けウニ（ムラサキウニ）を、世界初となる商業規模のウニの陸上畜養施設により、食用として育てて商品化し、地元の新たな特産品として『豊後の磯守』の商品名で国内外に販売する取り組みが始まっている。

取り組みを行っているのは、国東市の榎大分うにファーム。同社は、地球温暖化などが原因で増えすぎたウニが、生物の住処となっている藻場を食い荒らす「磯焼け問題」を憂慮し、これを放置しておくとう海の生態系に影響を与え、天然漁獲量の減少につながることから、ウニの畜養に着目した。今年4月には、大分県の助成を受けウニの陸上畜養施設が完成し、本格的な生産体制に入った。ウニは約8～10週間程の飼育期間で出荷が可能となり、年間の生産可能総重量は最大18トンを見込んでいる。

この取り組みは、良質なウニの安定供給を求める地元の旅館・飲食店からの期待を集めており、また、地元漁業者からは、厄介者だったウニを同社へ販売することによる新たな収入源の獲得が期待されている。さらに、磯焼け問題が改善されると、藻場が回復し、海洋資源の増加につながるなど、循環型のビジネスモデルとしても、注目が集まっている。

《問い合わせ先》

大分県東部振興局地域創生部

TEL : 0978-72-0857



豊後の磯守
BUNGO NO ISOMORI



神楽の全国組織設立への準備会発足

神楽は、平安時代の宮中御神楽に由来するものであり、神を迎えてその場にいる人たちに力を授けたり、災厄を祓ったりする神事芸能である。

その神楽を国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産へ登録しようと、全国8都県(宮崎県、長崎県、福岡県、大分県、熊本県、長野県、愛知県、東京都)で14の神楽を継承する各保存団体が、7月に全国組織の準備会を設立した。この準備会の事務局は、県内各地に200を超える神楽が継承される国内有数の神楽県でもある宮崎県が担当する。7月に開かれた初会合では、来年度初めまでの全国組織設立に向けたスケジュールや、2026年の登録を目指して、団体同士の横のつながりを強化していくことなどを確認した。今後は事務局が中心となって、全国各地の神楽保存団体への説明や参加の呼びかけを行い、全国組織の設立に向け準備を進めていく。

今年は宮崎県でのオリンピック聖火リレーの出発式や、現在開催中の「国文祭・芸文祭みやざき2020」といった大きなイベントで舞が披露されるなど、数多くの神話や伝承が残されている本県において重要な役割を果たしてきた神楽。

しかし、過疎化や高齢化による深刻な後継者不足により、神楽の保存・継承が各地で共通の大きな課題となっている。こうした状況を受け、全国組織の設立によって、情報発信や連携を深める取り組みを全国に広げ、保存・継承の重要性への意識を高めるため、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す。

《問い合わせ先》

宮崎県教育庁文化財課
TEL : 0985-26-7250



鹿児島県の魅力を海外へ発信する海外広報官！

鹿児島県では、海外における県の魅力・イメージの向上を図り、インバウンド需要の取り込みや交流人口の拡大等を推進するため、昨年4月に「海外広報官」を設置した。

海外広報官には、高度かつ専門的な知見を有する外部人材として、イギリス出身のアレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー氏が就任。氏は、2005年に鹿児島に移住し、民間企業・行政機関での翻訳業務や、県政番組のリポーター、県内観光地でのPR業務などさまざまな業務に従事しており、海外の情報に加え、本県の観光情報にも詳しい。来日以来続けている、鹿児島古来の剣術「示現流」は、全国各地の由緒ある神社で演武を行うほどの腕前を持っている。

就任後は、県の海外関係事業に対する助言を行うとともに、SNSを活用し、本県の美しい風景や観光地について、自ら英語で発信している。

7月に奄美大島・徳之島が世界自然遺産に登録され、鹿児島は、屋久島と合わせて2つの世界自然遺産を持つ全国唯一の県となった。

コロナ収束後のインバウンド需要を見据え、海外広報官を積極的に活用し、効果的な情報発信に取り組んでいきたい。

そのほか、今年8月に開設したYouTubeチャンネル「People of Kagoshima」で、作り手や職人にスポットを当て、特産品や伝統的工芸品・食文化などを動画で紹介しているので、ぜひご覧いただきたい。



《問い合わせ先》

鹿児島県かごしまPR課 TEL : 099-286-3045



安心してご来場を 首里城・沖縄美ら海水族館

首里城および沖縄美ら海水族館等について2019年2月に国から許可を受け、沖縄県による管理がスタートして約2年半が経つ。

その間、首里城公園は同年10月の火災による影響を受けながらも、国および指定管理者と連携しながら、「見せる復興」と称して復元過程の段階的の公開に取り組んでいる。現在、有料区域内では世界文化遺産である正殿遺構等を直接ご覧いただけるほか、火災後に設置した「世誇殿」の大型モニターや首里城復興展示室にて、在りし日の首里城の様子・琉球の歴史文化を学ぶことができる。今後は首里城正殿の着工に向け、段階的に変わる現場の様子をご覧いただくことができるため、何度訪れても楽しめる空間となっている。

沖縄美ら海水族館では、世界最長飼育記録を更新しているジンベエザメ以外にも、実は世界初・日本初展示の生物がいることはご存じだろうか。また、水族館近くにあるイルカラグーンでは、今年7月に生まれたオキゴンドウの赤ちゃんをご覧いただけるため、水族館と併せて足を運び、新たな発見をしてほしい。

なお、首里城・沖縄美ら海水族館では、サーモグラフィや消毒マットの設置、3密を防ぐため、観覧者が多い箇所への案内員の配置やフロアマーカの設置など、新型コロナウイルス感染症予防策に万全を期しているため、ぜひ安心してご来場を(開園情報についてはそれぞれHPを参照)。

《問い合わせ先》

沖縄県都市公園課
TEL : 098-866-2035
FAX : 098-867-7875



国営沖縄記念公園(海洋博公園)
オキゴンドウ母親の「もも」と子供

日本初の巨大アーチ式ダム～^{かみしいば}上椎葉ダム～ (宮崎県)



宮崎県の北西に位置し、人口約2,500人、約96%が森林で囲まれた日本三大秘境のひとつ「椎葉村」。そんな秘境椎葉村に1955（昭和30）年5月26日に完成したのが、日本で初めての大規模アーチ式ダムの「上椎葉ダム」です。日本の土木技術に多大な影響を与えてきたこのダムは、愛好家たちの間で「閣下」の愛称で親しまれています。

上椎葉ダムは九州電力管理の発電用ダムで、高さ110メートル、長さ341メートル、総貯水量9,155万立方メートルのアーチ式コンクリートダムで、日本有数の規模を誇ります。

アーチ式ダムは貯水池の方向に外曲する円弧の形を描くダムで、従来の重力式ダムがダム自体の重量で水圧を支えているのに対して、両岸の強固な岩盤を利用したアーチ作用により側壁に水圧を転嫁して支えるもので、工期の短縮と資材の節減を実現しました。

さらに、洪水吐きにはスキージャンプ式を採用し、両岸から放流する2つの水をぶつかり合わせて減勢させる構造になっています。

女神像公園からは上椎葉ダムと日向椎葉湖が一望でき、見下ろす眺めが大変オススメです。また、10月下旬から11月中旬は紅葉も見事で、ダムの周りを紅葉が彩る景色はさらに絶景です。

ぜひ皆さんも、自然に囲まれた秘境で「閣下」の雄大な放水を見てみませんか。

《問い合わせ先》

一般社団法人 椎葉村観光協会 TEL：0982-67-3139

スケジュール (10月)

日(曜)	会合名等
6日(水)	熊本地域委員会(熊本市・ザ・ニューホテル熊本)
12日(火)	行財政委員会第3回自立型広域経済圏モデル検討WG(福岡市・九経連)※Web併催
14日(木)	第1回農林水産委員会(福岡市・九経連)※Web併催
15日(金)	農林水産委員会林業部会現場視察会(くじゅう九電の森[大分県湯布院町]、昭和電工武道スポーツセンター[大分市]) 九州・山口ベンチャーマーケット2021(福岡市・JR九州ホール)※Web併催
19日(火)	国際委員会企画部会(福岡市・九経連)※Web併催
20日(水)	西日本経済協議会第63回総会(熊本市・熊本ホテルキャッスル)
22日(金)	第40回九州地域戦略会議(鹿児島県奄美市・奄美観光ホテル)
26日(火)	九経連・経団連共催 農業活性化に向けた企業タイアップセミナー(Web開催)
27日(水)	宮崎地域委員会(宮崎市・シーガイアコンベンションセンター)

新入会員企業(8月)

㈱AXions

代表取締役社長 初村 正章

福岡市博多区吉塚8丁目4-48

TEL：092-611-2681 従業員数：76名

事業内容：グループ事業（倉庫事業・サイロ事業・通関業・輸送業）の統括、物流不動産事業、資産運用等

㈱デジタルガレージ

代表取締役社長兼執行役員グループCEO 林 郁

東京都渋谷区宇田川町15-1

TEL：03-6367-1111 従業員数：471名

オープンネットワークラボ推進部 マネージャー

福岡市中央区大名2丁目6-11

大木 健人

事業内容：マーケティング、投資・育成事業決済を主軸としたインターネット関連事業

◆九経連ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

◆九経連メールアドレス info@kyukeiren.or.jp 月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。